

こころ21だより

会報 第25号

2014年(平成26年)12月20日発行

事務局

〒730-0856

広島市中区河原町7-2 徒然社内

TEL 082-292-4507(金子)

FAX 082-292-4508

E-mail: kokoro21@tsure20.co.jp

NPO法人 心豊かな家庭環境をつくる広島21

発行責任者/理事長 岸房康行

My Opinion

「子どもの心と握手」しよう!!

玖島 慶子



「毎朝、保育園と小学校に通う子どもを車に乗せ、まず小学校に、次に保育園にと子どもを送っています。今年小学校に入学した長男は、車から降り

るとき、目にいっぱい涙をためてバイバイをするんです。保育園のころは元気にバイバイしてくれていたのに…、夕方、保育園の子どもを迎え、家に帰ると、『おかえり、お母さん疲れてない?』と言いながら肩をたたいてくれるのです。とても優しい子なんですけど…」。

これは、保育園でやっている“子育てについて語りましょう”の会に集まったときのあるお母さんからの報告です。私は、この話を聞きながら、思わず胸が熱くなり、かわいい1年生を抱きしめてあげたい気持ちでいっぱいになりました。まだ母ちゃんの胸にすがりつき、うんと甘えたいけれど小学生になった誇りと兄であることの自覚で、グッとこらえた気持ちが涙になっているのではないのでしょうか。精一杯の努力と我慢で、1年生になった重圧をなんとか乗り越えようと頑張っている涙かもしれません。そして、何よりも母ちゃんに、心配かけたくないと思っているでしょう。こんないじらしい気持ちはどのお子さまも皆、持ち合わせながら成長していると思っています。この長

男の心が疲れ果てないことを祈りながら「子どもとバイバイする時、『お兄ちゃん頑張っているのね』と言いギョッとあげたらどうでしょう。肩を叩いてくれた時『おかげで疲れがとれたよ。ありがとう。あなたの優しい気持ちは、とても嬉しいよ』と母さんの気持ちを伝えてあげてみてはどうでしょう」と話しました。母さんはぼくのことちゃんと見てくれているんだという安心感をもってほしいと思ったからです。日常的にももっともっとスキンシップをしながら、“あなたのことが大事よ”のメッセージをたくさん伝えることが大切だと思っています。

豊かな感性を持つ子どもたちと“心の握手”をするために、まずは、子どもの発するメッセージを見落とさないで丸ごと受けとめ、それに応える努力をすることです。保育園のお片付けの時間、なかなかできない子どもの名前は何度も呼びますが、すぐお片付けに取りかかった子どもの名前は呼びません。「僕はまだ一度も名前呼ばれていない!」。痛烈なその子の叫びに、ハッとさせられます。子どもたちは、叱られているかどうかより自分の名前が呼ばれているかどうかが大それたのです。一人一人、きちんと認めることの大切さを教えられます。「愛されること、認められること、人の役に立っていると実感できること、感謝され、やっていることが褒められること」。こんな場面がたくさんあるほど、人は輝いて生きていけるのです。子育てのなかで教えられた人としての生き方、無数の子どもたちに感謝感謝の連続です。

(NPO法人こころ21会員)

—能島の潮流体験と村上水軍—

村上水軍のふるさとを訪ねて

NPO法人こころ21会員 片平 靖

会員親睦バスツアーに初めて参加しました。前日に、妻から「あなたが行くから明日は雨よ」と言われ、そのとおり雨中のバスツアーとなりました。私のせいか？と少し思う。

予定どおり、7時半に県庁前を出発。車中では、参加者24人の自己紹介や森保洋之先生による情報満載の解説を聞き、事前勉強。金子事務局長の軽妙な司会ぶりで、和気あいあいとした雰囲気、一路、しまなみ海道の大島へ。

大島では、「能島村上」が城を築いていた能島や鯛崎島がある宮窪瀬戸の9ノットもある潮流を、救命胴衣と雨がっぱを着て、雨が降りこむ船から間近に体験。潮流体験後は、船着き場の食事処で海鮮バーベキューを一杯飲みながら味わいました。その後、ほろ酔い気分で村上

水軍博物館を見学。次に因島に帰り、村上水軍の一派である「因島村上」の資料館である因島水軍城を長い坂と階段を登って見学。両館とも、地元の方の解説はとても詳しく、歴史を感じさせる深い、楽しい話でした。因島を離れるころには雨も止み、帰路につきました。

まさに瀬戸内の歴史を知る「村上水軍のふるさとを訪ねる」印象深い小旅行でした。また、コブ鯛、ビールこぼし事件などの話題もあり、会員の皆さまの温かさに触れた一日でした。

ツアー参加の感想文を片平さんから寄せていただきましたので、ツアー記事に替えさせていただきます。

（金子 敏郎）



能島の潮流体験は雨の中の船出。参加者、まだまだ、不安!?



スゴイ激流。参加者、次第に驚きと興奮。



しまなみ海道にかかる大島大橋。雨の日、橋を見上げるのもなかなか珍しい体験。



潮流体験に満足（のはず、幹事が勝手に決めつけています）。そして、ほどよい空腹でいざ、昼食。



調味料なしでも美味な海鮮食材。



村上水軍博物館で第一次勉強会。丁寧な解説に納得も、昼食後で眠気も強敵。「村上水軍の娘」の影響で今年の入館者は前年の7割増となったとのことでした。



因島水軍城。今年は入場者が大幅に増加したとのこと。



今回も、森保洋之理事に、興味が広がる貴重な資料を作っていただきました。



因島水軍城スタッフ（中央が今井さん）

因島水軍城ではボランティアでガイドをされている今井 豊さん（66歳）の熱の入った説明を聞きました。因島中庄町で開業されている歯科医師で、因島の水軍研究の第一人者。早朝、歯科医院の始業前に歴史書を読み込む毎日です。休診日は、ガイドのほか講演や取材に引っ張りだこのこと。私たちの質問にも丁寧によどみなく答えていただきました。夢は「愛媛、広島両県の郷土史研究家で村上水軍学会をつくること」だそうです。現在、尾道市文化財保護委員。

第8回

カレーづくり大会 in 舟入

12月14日(日) 舟入第二公園

参加者：大人60人(広島市立大 山口光明教授・学生5人を含む)
小学生62人 幼児14人 消防団員3人

当日は子ども会の高学年は他の行事と重なり出席が少なく、まき割りをする子どもも少なめになりました。本来は「大人は口を出さず手も出さず」の事業ですが、今回は開始段階から参加のお父さんのストレス発散に積極的に取り組みましょう、ということにしました。今のお父さん世代の人もまき割りなどを行うことが少なくなっているの、ちょうどいい経験になりました。

今年もJA広島中央会・ハウス食品さんから食材の提供をい

ただき、また、8回を重ねた実績の効果でしょうか、募集のパンフレットには地域の方から協賛の広告もいただきました。

参加募集は子ども会の会員だけでなく、在校生の全員へ学校の協力で配布することもできました。

多くの皆さまのご支援のおかげでおいしく食べ、楽しく遊び、多くの人が集うことができ、本当にいい大会でした。

(金子 敏郎)

奥田 一政(保護者)

8回目にして初めての参加となった私。当日は私のように初めて参加する子どももいたが、向井先生の説明をしっかりと聞いて「自分たちがやるんだ」という姿勢が見え、頼もしく感じました。

それでも初めての子だろうか、野菜を洗うにも玉ネギの皮をむかなかったり、何度も洗ったりとさまざま。そんな姿が強く印象に残りました。

そうした過程からでき上がった自分たちのカレーは、さぞおいしかったのではないかと思います。

今回の経験をぜひ生かしてもらいたいです。

川西 涼子(保護者)

大会には息子たちと参加しました。まき割り、火起し、野菜洗いからそれを切ってカレーを作って食べるまで、スタッフの方の説明のもと、子どもたちだけで。

大人は「口も手も出さず、見守るよう」言われましたが、便利な生活に慣れた親はつい声をかけてしまいます。それでも、子どもたちはグループで話し合い協力し、分担しながら、どの班もおいしいカレーを作り、とても良い経験をしました。

寺尾 光希(小学4年)

私は4回目の参加で初めてリーダーになってドキドキしました。ニンジンが硬くて切るのがむつかしくて、大学生に切ってもらったりして、班のみんなと協力して早くでき上がりました。

カレーはとってもおいしかったので、おかわりをしました。家でも一人おいしいカレーを作りたいです。来年もカレー大会に参加したいです。



公園で火を使うということで、消防団員の方もいざという時のために参加いただきました。

寄せられた感想文の中から一部を掲載させていただきました。

こども音楽体験教室 (広島文化学園大学)

10月24日 (金) 広島市立落合保育園 (安佐北区) ~オーボエとピアノ~

11月10日 (月) 広島市立あけぼの保育園 (東区) ~クラリネットとマリimba~

11月18日 (火) 広島市立川内幼稚園 (安佐南区) ~トランペットとトロンボーン~

アウトリーチ感想文

子どもたちを対象としたアウトリーチをさせていただき、一緒に楽しく音楽を通して触れ合うことができました。「トロンボーンはどんな音がするのかな?」「どうやって音の高さをかえているのかな?」というように、「こんなところに注目して聴くと楽しいよ」というポイントを伝えてから演奏することで、一緒に音楽を楽しめるように心がけました。また、演奏だけではなく、実際にトロンボーンのスライドを動かして音の高さをかえる体験や、クイズを取り入れることで

楽器に興味をもち、近くで楽器を見せながら演奏することで生の音を聴いた感動を味わう楽しさや、感性を育てるきっかけになれたのではないかなと思います。私は、保育園の時に初めて生で吹奏楽の演奏を聴いて感動したことがきっかけで、今でも音楽を続けています。今回アウトリーチを体験した子どもたちが、これからも音楽を楽しんでいってくれたらうれしく思います。ありがとうございました。

広島文化学園大学 学芸学部 音楽学科 4年
岡村香奈恵 (トロンボーン)

すぐ目の前で演奏を聞かせていただけて大迫力でした。楽器の説明も解りやすく、子ども以上に私も楽しませていただきました。普段なかなか見ることのないトランペットとトロンボーン、子どももしっかり名前を覚えて帰って来ました。「すごく大きな音のするトランペット、面白い形のトロンボーン」と子どもも喜んでいました。素敵な演奏と貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

川内幼稚園 クローバーの会 (保護者会)
副会長 増野優子



学生の皆さんが、大変にこやかに子どもたちに語りかけられ、楽しくパフォーマンスしていただいたので、楽器について楽しく知ることができたようでした。また、学生さんが明るく、若々しく、子どもたちにとって大変魅力的で親しみやすかったようです。大きくなったら自分も吹いてみたいと興味、関心を持つことができました。子どもたちの知っている曲などの演奏も聞いてみたかったです。

すてきな時間をありがとうございました。

川内幼稚園 職員一同



こども夢コンサート (エリザベト音学大学)

学生と教員の特別出演で、園児も交えた音楽会

10月27日 (月) 広島市立皆実保育園・大河保育園 (南区)

10月28日 (火) 広島市立坪井保育園・千同保育園 (佐伯区)

オペラ『魔笛』より「パパパの歌」、『アナと雪の女王』より「レットイットゴー」ほか

アウトリーチ感想文

今回の企画では、子どもたちの反応をととても近くで感じる事ができ、非常に新鮮でした。私たちが良い演奏をしていく上で技術はもちろんですが、「聴いている相手とのキャッチボールも大切にしたい」、と改めて感じる良い機会をいただいたと思います。ありがとうございました。

エリザベト音楽大学大学院1年 声楽 小川裕子

今回の保育園でのコンサートでは、初めて舞台台本の構成を担当し、また自ら舞台に立たせていただき、とても勉強になりました。子どもの前で演奏する機会はめったにないので、とても新鮮で良い経験となり、そして舞台をみている子どものさまざまな素直な表情を間近で見ることができ、とても楽しかったです。ありがとうございました。

エリザベト音楽大学大学院1年 声楽 神田彩花

0歳1歳の子もたちも体でリズムを取っていたり、中には泣く子もいましたが、何度も泣き止んでじっと見ておりその姿をととてもうれしく思いました。

女性の声は耳にすることがあっても、男性の声は耳にすることが少なく、本当にびっくりだったようです。とても感動し心に残ったようで、年少組の男の子が、鏡を見て手を洗いながら「パピパピパピパピパゲーン」と歌っていました。お見せしたいぐらいかわいかったです。

アナと雪の女王の歌が大好きな子がたくさんおり、コンサートで歌ってもらってうれしかったようです。コンサートの後みんな口ずさんでいました。

「ドレスがきれいだったね」「結婚してよかったね」と保育室に帰ってからもしばらく余韻に浸り、みんなで歌を歌って楽しんでいました。

結婚というキーワードが心に残った子も多く、結婚にまつわる話で盛り上がりました。

坪井保育園 園長 日高節子



- 「本格的ですね」「保育園でこんな経験ができるなんて…」と興味深く写真ニュースに見入っていた。
- 保護者に様子を伝えようとする子どもに「よかったね。よかったね」と何度もうなずいておられた。
- 「エリザベトの方が来られたんですね」とポスターの写真に、目を留めていた。

千同保育園 保護者の方の声



予告

こども夢コンサート 中筋幼稚園・中筋保育園交流事業

場所／中筋幼稚園 (安佐南区)

日時／2015年2月23日 (月) 午前10時開演 企画・協力／エリザベト音楽大学

「ネット問題」をテーマに青少年育成カレッジ開講



当NPO法人が3月に開催したフォーラム、「ネットとの向き合い方を考える」に登壇していただいた4人の講師が、青少年育成広島県民会議

が主催した「青少年育成カレッジ」（10月11日開催）で講演されました。

広島修道大学の西野泰代教授は「ネットのネガティブな側面を経験し深く傷つく子どももいます。ネット社会の現実を直視し、これからあるべき社会の姿をみんなで考えましょう」と呼びかけました。

広島市電子メディア協議会会長の尾崎公幸さんは「親が把握しなければいけない、子どもが使うケータイの実態とその対策」について報告。

岸房理事長は「ネット依存など子どもたちが多くの課題を抱えているのは、家庭の教育力が低下していることが大きく影響しています。道徳観、正義感など豊かな人間性を育むためには、何よりも家庭の教育力を高めることが必要」と力説しました。

中国新聞社特別顧問（当法人理事）の今中 亘さんは「ネット社会の『負』の側面を、マスメディアはきちんと伝えているだろうか」と、新聞各紙の報道を見出し別に分類し、ネットの効用、ネットのPR、ネットの影などの面から、ネット漬けの実態を紹介、問題点を浮き彫りにしました。

私たちはネット依存社会にどう対応すればよいのか、3月に続く第2弾のフォーラムを開催する準備を進めています。

（野坂 忠守）

会員紹介

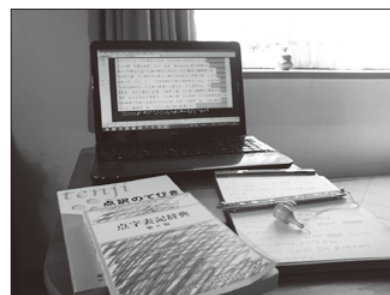
新しい二つの出会いに感謝!!

庄 美千代

退職5年の延長にピリオドを。今までと違う世界と、社協の点訳グループに所属しています。天声人語、市民と市政、区民だよりや書籍、絵本などの配布や、学校での体験学習なども行っています。

小さな6点で一文字を表す50音数字、英字、記号類などを覚えるのに四苦八苦の毎日。6点の一つ穴を間違えると文字にならないし、修正も難しいので集中力が必要です。パソコンで打ち込み、ぽつぽつと膨らむ印刷が可能な技術革新には驚きました。先輩方の地道な活動に続いて行けるよう、私も手打ちでカレンダー作りに挑戦しています。

秋にはさらなる出会いが！
以前の保育関係の仕事で、お手伝いをと引き受けたのが「子どものための音楽プロジェクト」。



学生さんたちが、学業の合間に企画や練習（十分な時間は取れない現実）をして演奏します。子どもたちが聞き入る表情、笑顔、驚きなどに触れあう感動を、学生や私たちスタッフも共有し合う素敵な空間です。子どもたちの未来に、学生さんたちのこれからの活躍にエールを送る私です。

「こころ21」の方々が信念を持たれ、熱く活躍される姿に学んでいこうと思います。

食育活動と子育て支援

広島信用金庫西風新都支店(安佐南区)を会場に開催しました。
 回を重ねるごとに、開催を心待ちにされているお母さん方が増えてきたのはうれしい限りです。

10月17日(金)

●参加者/親子7組

広島女学院大学から7月に続いて、管理栄養学科の学生3人が参加。
 こころ21から4人(岸房理事長、藤本顧問、濱口、住田各理事)。

●内 容/

・料理レシピの紹介

カボチャスープ、カボチャいとこ煮、カボチャのマリネ、カボチャケーキ

・カボチャの栄養について 女学院大学の学生が発表

・教育相談、親子遊び、絵本の読み聞かせなど、有意義な2時間を過ごしました。



12月2日(火)

●参加者/親子3人連れを含む7組

こころ21から5人

(岸房理事長、金子事務局長、濱口、住田、窪田各理事)

●内 容/

・料理/キノコと豚の丼、キノコのクレープ風、フルーツのみぞれあえ

・育児支援/絵本の読み聞かせ、手遊び、手品



個人会員名簿

会員数100人 平成26年12月20日現在

顧問	竹内 育子	岩田 公正	好木ユキ工	田淵真知子	福原 秀穂
平岡 敬	濱口 豊彦	上田普弥子	高祖まち子	田村 利文	福谷 崇史
藤本 黎時	東 友一	大石 一朗	高野 忠造	鶴 衛	藤川 洋
理事長	前川 功一	大窪 康幸	幸本 武司	寺田 秀樹	藤登 康志
岸房 康行	森元 弘志	片岡 功	合ヶ坪宏政	中上 鈴枝	藤原 和子
副理事長	森保 洋之	片平 靖	佐々木和人	中村勝三郎	藤原 光広
高東 博視	渡部 佳美	金子 和史	佐藤 陽祐	中村 一孝	前大道教子
野坂 忠守	監事	上村 芳枝	下坊 和幸	中村 道德	松尾 英
理事	赤羽 克秀	川口 覚	下村 重円	長屋 清子	村上 育美
市川 太一	坪井 宏	川西 勝文	庄 三千代	長山 文子	村田 和之
今中 亘	会員	川本 正行	住岡 真典	仁井本敏浩	森脇 弘至
金子 敏郎	東 和子	岸 節子	世良 靖子	畠山 京子	柳川 悦郎
川瀬 啓子	足立 柳子	木時 寿子	世良 泰弘	原野 昇	山下 京子
川野 祐二	安東 善博	木時 誠	竹島 祥之	肥後 久雄	山野 進
窪田 晴美	井川三千男	玖島 慶子	竹村 将志	日高 孝昭	山本 誠
坂井 幸	井手下久登	久保 俊祐	辰広 一美	平岡 顕	米今 明子
住田 和子	井上佐智子	黒川 浩明	辰広 純子	平松 立美	
高木 一之	井上 正章	黒田佳代子	谷口 弘幸	福島 紀幸	

法人会員紹介

私たちのNPO法人の活動を支援して
いただいている法人会員です。

いでした 内科・神経内科クリニック

☎739-1734 広島市安佐北区口田3-31-11
フリーダイヤル 0120-65-0211

永井幸治司法書士事務所

☎730-0013 広島市中区八丁堀1-23 ヴェル八丁堀711号
☎ 082-223-6660

社会保険労務士法人 サトー

☎730-0051 広島市中区大手町1-6-2 MDX広島ビル5階
☎ 082-546-2080

中広印刷株式会社

☎733-0012 広島市西区中広町1-17-23
☎ 082-503-1525

有限会社 しんや

☎730-0035 広島市中区本通1-9
☎ 082-248-3700

医療法人社団まりも会 ヒロシマ平松病院

☎732-0816 広島市南区比治山本町11-27
☎ 082-256-3650

株式会社 玉屋

☎732-0814 広島市南区段原南1-20-11
フリーダイヤル 0120-454949

広島信用金庫

株式会社 徒然社

☎730-0856 広島市中区河原町7-2
☎ 082-292-4507

社会福祉法人 三篠会

法人事務局
☎739-1412 広島市安佐北区白木町小越230番地
☎ 082-828-7722

訃報

古川 隆さん(82歳) 9月16日死去

NPO法人こころ21が平成18年8月に設立されて以来、25年5月まで副理事長を務め、当法人の発展に貢献いただきました。謹んでご冥福をお祈りします。

新入会員

個人会員／庄 美千代
前大道 教子
上村 芳枝

当会のホームページを開設。 <http://www.tsure20.co.jp/kokoro21.html>

編集後記

わがNPOの設立の狙いやコンセプトをホームページやパンフレットで読んでみると、「かつての良い家庭環境や地域社会のきずなが失われてきました」あるいは、「心の豊かさを求め」、「心豊かな家庭環境づくり」を目指しましょうと表現しています。

以前に開いた理事・役員の見解交換会の席上で、「心豊かな家庭環境を阻害しているのは何でしょうかね」という意見も出ていました。

私たちのNPOも来年で9年目を迎えます。もう一度、原点に帰っ

て問題を洗い直し、対応策を探り、それを実行に向けていきたいものです。

狙いが高尚なだけに、具体的な解決方法の選択も難しいと思います。発見できた問題点を絞り込み、その中からできるものを選択する。そのためにも、私たちが問題点を明確にしなくてはなりません。この会報で会員の皆さまの主張をぶつけ合えたらいいかと思います。ご意見をお寄せください。お待ちしております。(金子 敏郎)